

謹んで新年の お慶びと 申し上げます



奥州市長
相原正明

年は、各分野にわたる施策のほかに、次の重点項目を掲げ積極的に取り組んでまいります。

- 1 震災復興の強力な推進と未曾有の不況・雇用不安に対応するための緊急雇用・経済対策の具体的かつ速やかな実施
- 2 奥州市合併の成果が実感できるきめ細かな施策の積極展開
- 3 これまでの地区要望を聞く会、市政懇談会等での市民からの意見・要望の市政への具体的反映
- 4 自治基本条例（まちづくりの憲法）の制定・施行と新たなまちづくりの定着化
- 5 地区センターを中心とした住民主体による地域づくりの促進および国際交流、男女共同参画等の推進
- 6 新市建設計画10カ年計画の着実な推進と新たな財源による新しい行政ニーズへの対応
- 7 マニフェストの着実な推進とわかりやすい検証
- 8 副県都を目指す戦略プロジェクト（子育て環境ナンバーワンプロジェクト、知識集積型都市・高度教育都市構築プロジェクト、世界文化遺産を核とした文化交流・観光プロジェクト）の強力な推進
- 9 防災・防犯・交通安全対策など、安全・安心のまちづくりの推進
- 10 農林産物のブランド化、企業誘致・産学官連携、中心市街地活性化などの推

明けておめでとうございます。

2009年の初春にあたり、皆様のご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げます。

昨年は、奥州市民のうたの初披露で新年の幕が上がり、奥州宇宙遊学館（水沢区）のオープン、江刺カルチャパーク多目的広場の完成、前沢北地区土地区画整理事業の工事完了、胆沢第一小学校校舎の耐震補強工事の実施（21年度に大規模改造工事を予定）、衣川中学校校舎および体育館の建設着工など、各自治区の新市建設計画を着実に進めることができました。

一方で2度にわたる地震災害に見舞われ、また、平泉世界文化遺産が「登録延期」となり、さらに年末には、アメリカ発の金融恐慌による不況、雇用不安の波が押し寄せるなど、厳しい出来事があった年でもありました。地震被災地の復旧・復興にあたりましては、国や県、関係機関・団体、そして多くの住民の皆様のご支援、ご協力をいただきながら、また、不況による雇用不安への総合的かつ緊急的な対策についても、全庁あげてそれぞれ全力で取り組んでいるところであります。

さて、新生奥州市の誕生以来、初代市長として、新市としての一体感の醸成と各自治区の均衡ある発展を図りながら、副県都としての力強い発展を目指し、職員一丸となって諸施策を進めてまいりました。

合併4年目（任期の最終年度）を迎える本

進による産業の振興

11 道路・橋梁・上下水道・情報通信などの基盤整備の推進

12 教育（人づくり、スポーツ・文化・生涯教育の振興、教育施設整備など）・福祉（子ども、お年寄り、障がい者へのきめ細かな施策など）・環境（こみの減量・リサイクル、景観・自然保護、地球温暖化防止対策など）施策の積極展開

13 平泉世界文化遺産の登録推進や胆沢城などの史跡の保存活用推進

14 大学誘致指針の策定と推進
15 東京事務所の設置実現による情報収集・発信力およびネットワーク形成力の強化

16 岩手競馬の経営安定化

17 総合水沢病院の国支援を受けた新たな改革プランの実施と着実な経営改善
18 土地開発公社の経営健全化計画の樹立と実行

このほか、多くの新たな課題に對しましても積極果敢に挑戦し、この1年を任期4年の総仕上げの年と位置付け、総合計画や新市建設計画の着実な実施を基礎とした「副県都構築」という新市の目標に向って、市議会のご指導のもと、職員一丸となって各般の施策に意欲的に取り組んでまいります。

市民の皆様の一層のご理解とご協力をお願い申し上げ、新年のごあいさついたします。